

# 寄附金の活用実績

和歌山県立医科大学青洲基金に頂いた寄附金を、以下のとおり有効に活用させていただいております。

## 【附属病院の環境整備事業】

年度	活用内容	活用理由	数量（個）	金額（円）
令和3年度	卓上型対話支援システムの購入	入院センター窓口で患者さんと円滑なコミュニケーションを図れるようにするために購入しました。	1	3,000,000
令和4年度	感染症対策テントの購入	新型コロナウイルス入院前PCR検査を受けられる患者さんが待機するための感染症対策テントを購入しました。 また、本品は災害時に活用することが可能です。	1	499,950
	車椅子の購入	外来患者さん用の車椅子を配備していますが、全車使用中となることもあったことから、追加購入しました。 また、大柄の患者さんにも利用しやすいワイドサイズの車椅子を4台購入しました。	24	786,000
	手すり付きバリアフリースケールの購入	体重測定の高頻度が多い入院患者さんの転倒リスクを低減するため、安全に計測できるバリアフリー対応の体重計を購入しました。	1	142,450
	からだ測定アシスタントの購入		1	396,000
	超音波骨量測定装置の購入	診療や当院が主催する「骨粗鬆症の日」等の啓発イベントで骨密度測定体験を行う際に使用する超音波骨量測定装置を購入しました。	1	1,144,000
令和6年度	全身自動身長体重計 (からだ測定アシスタント付き)	体重測定の高頻度が多い入院患者さんの転倒リスクの低減及び電子カルテシステムへの連携機能による看護師等の業務効率化のため、全自動身長体重計を3台購入しました。	3	2,970,000
令和7年度	全身自動身長体重計 (からだ測定アシスタント付き)	令和6年度と同様に全自動身長体重計を3台購入しました。	3	2,999,700
合計			35	11,938,100

## 【教育研究の向上事業】

年度	活用内容	活用理由	数量（個）	金額（円）
令和6年度	最新設備導入による実習教育環境の充実 (基礎看護実習室の水回り設備の更新)	看護実習生が実際の病院に近い設備で実習教育を受けられるよう、基礎看護実習室の水回り設備を更新しました。	-	10,270,700
令和6年度	フィジカルアシスタントモデル (Physico M55) 1式	学生のバイタルサインの取得スキルの向上のため、実習で使用するフィジカルアシスタントモデルを購入しました。	1	4,002,350
令和7年度	講義室用サーキュレーター	学生の適切な学習環境の維持及び各種イベントに活用するため、サーキュレーターを20台購入しました。	20	484,000
合計			-	14,757,050

## 【修学支援事業】

年度	活用内容	活用理由	人数（名）	金額（円）
令和5年度	和歌山県立医科大学青洲基金大学院奨学金 (給付型)	本学医学研究科 博士課程及び保健看護学研究科 博士前期課程の入学で、経済的理由により学業に専念できない状況にあると認められる大学院生に対して奨学金を給付しました。	4	600,000
令和7年度	同上		10	1,600,000
合計			14	2,200,000